

会社案内

代表挨拶



カーボンナノチューブ（CNT）が世の中に出てから20年以上経ちましたが  
リチウムイオン二次電池や導電性複合材料に一部使われているだけで  
大きな産業に育っていません。

理由は簡単です。CNTは典型的なナノ粒子なのです。  
我々は、残念ながらCNT本来の多面的な特性を引出す技術を持ち合わせておりません。

そのことに鑑み、このHPは、CNTに関して取組んできた分散技術や開発事例を  
広く皆様方に提供して、少しでも実用化の糧にして頂きたいと念じて作成したものです。

## 会社概要

社名	有限会社スミタ化学技術研究所 (SUMITA Nanotechnology Co. Ltd.)
設立	2002年5月1日
本社	〒649-6339 和歌山市弘西674-20
大阪事務所	〒541-0057 大阪府中央区北久宝寺町1-7-9 堺筋本町プラザビル205号室 TEL : 06-6264-0248 FAX : 06-6262-2884 <a href="mailto:y-sumida@sankyokasei-corp.co.jp">y-sumida@sankyokasei-corp.co.jp</a> <a href="http://www.nano-sumita.com">http://www.nano-sumita.com</a>
代表取締役	角田 裕三 (すみた ゆうぞう)
代表経歴	1968年 京都大学工学部工学研究科燃料化学専攻修士課程修了 1969年 京都大学工学部助手 1972年 京都大学工学博士 1972年 花王石鹼 (現 花王) 株式会社入社 以来、主に高分子材料開発、製品開発に従事。 和歌山総合研究所所長、東京総合研究所所長、研究統括、化学品研究所所長、化学品開発部長、を歴任 2000年 花王株式会社退社、三京化成株式会社入社 2002年 三京化成株式会社退社、技術顧問に就任するとともに、各社の技術顧問やコンサルタントを兼務 2012年4月より2年間、NEDO技術委員
固有技術	● カーボンナノチューブの液相分散技術と透明導電塗料化技術 ● カーボンナノチューブナノネット膜の作製技術と導電性評価技術